

だれにも当てはまる日常のできごとを
人間味のある、あるがままの目でユーモラスに綴る

CL diary #54

むーらん



1月1日（金）

毎年、お正月はわが家に親戚が集まって過ごすことになっている。その時、お客さんに出す持ち帰りのお寿司を近くの店までもらいにいった。でも店から出るとき、うっかり急ブレーキをかけてしまい、お寿司が1皿下に落ちてしまった。

当然お寿司はめちゃくちゃに…。家に着いて母に言うと、「これはお客さんには出せへんなあ」。でもそれを叔母さんが聞いて、「みんなで食べたらええやん」と言ってくださった。それから、崩れたお寿司を、ごはんの上にネタをのせながら、みんなで直しながら食べた。みんなの協力が嬉しかった。ひとつ不思議なことは、「ごはんがふたつ足りひんで？」どこへいったのだろう？

1月12日（火）

私の住むマンションの隣が眼科の診療所で、このごろ、朝出かけるとき、ちょうど先生が駐車場を開けていることが多い。診療所には以前かかったことがあるので、先生、私のこと覚えているかな？と思いながら、毎朝、おはようございます、と挨拶をしていた。それで今日、久しぶりに診療所に行ったら、先生の第一声が「いつも朝、会いますね」だった。私のこと、覚えていてくださったのだ。

1月30日（土）

先週、母を近くの診療所に送っていったら、待っておられる患者さんがとても多くて、履き替えるスリッパが1足もなかった。仕方がないので、スリッパなしでそのまま上がり、診察室に入ったら、先生が「スリッパは？履かれないの？」と。

「1足も無かったのです…」そんなやりとりがあった。それで今日たまたま診療所のホームページを見てみると、スリッパが足りなくなったことのおわびと、追加で購入しましたということで、新しいスリッパの写真が載っていたのだ。気にかけていてくださったことと、すぐに対応してくださったことが、とても嬉しかった。

2月19日（金）

今日は囑託の弁護士さんに、各課の債権回収の相談に来てもらう日。会場の準備をする。1番目に予定している相談の、担当の人が来られたのだが「あの椅子、何か理由があって出しているのですか？」見ると弁護士の先生が座ることになっている椅子の後ろに、もうひとつ椅子がぽつんと置いてある。

私はまったく気にならなかったのに。すぐに片付けたけれど、ちょっと観察力が足らなかったみたい。

2月27日（土）

夜、実家に車で帰ってきたのだが、その日は激しい雨が降っていて（言い訳ですが）、入りにくく、横の川に車の前輪をはめてしまった。アクセルをめいっぱい踏むけれど、当然上がるわけもなく「あかん、J

A Fの人に来てもらおう」と電話で助けを呼んだ。しばらく待っていると、車でJ A Fの職員の方が来てくださった。

まず、状況を見て、ロープなどの道具を手際よく準備して、作業にとりかかってくくださった。ひどく雨が降っているのに、熱心に作業してくださる姿を見てみると、本当にすごいなあと思った。程なくして私の車は無事引き上げられ「雨の中、すみませんでした」と言う「これが仕事ですから」と次の現場へと向かっていかれた。

3月2日（水）

他の市に出す文書をパソコンで作成印刷していたら、1枚しか出ないはずの紙が、どこを間違えたのか、次から次へと紙が出てきて止まらない「何で!？」早く止めないと、とは思いつものの、どんどん紙はたまっていく。外見は予定通りの印刷だったように平静を装っているけれど、内心はこれからどうなるのだろうとめちゃくちゃ慌てていた。その後、パソコンから操作して印刷はなんとか止めることができたが、たった1枚印刷するのに汗だくになってしまった。



3月13日（日）

晩ごはんを食べようと思って、トマトを切ってテーブルの上に置いておいた。

しばらくしてあらためて見ると、トマトの数が足りないような気がする。あれっと思って後ろを見ると、トマトの残骸が…。やられた！ねこに食べられたのだ。

ねこはトマトなんて食べないだろうと油断したのが悪かった。うちのねこはトマトを食べるのだ…。

3月30日（水）

朝、仕事場に着くと、机の上に小さい袋が置いてある。隣の人に、これ、誰から？と聞いてもわからないとのこと。見ると女子職員の机の上にはみんな置いてあるようだ。

袋をあけると、かわいいお菓子がはいっている。名前などは書いていなかった。たぶん、この4月の人事異動で課を出ていく人からのシークレットサービスなのだろう。

だから、ありがとうと心の中で言って、それ以上詮索しないことにした。

（滋賀県滋賀郡CLインストラクター）

 [目次へ戻る](#)